

協働・ネットワーク

08/1/7 四日市大学総合政策学部 教授 松井真理子
(NPO法人市民社会研究所 代表)

1 基準

NPOは、他の組織と、地域的・全国的に、多様な方法で協働している。情報共有、補足的あるいは共同によるサービス提供を通じて、より効果的に影響力を行使している。

2 達成レベル

レベル1：地域の中で積極的な役割を果たしている。また、関係団体とコミュニケーションがとれている。

- ・ 関係機関・団体の連絡先の詳細を作成・保管している。
- ・ 提供するサービスや活動について、他の団体等と情報交換されている。
- ・ 効果を高めるために他の組織と協働する計画があり、その計画が実施されている。
- ・ 他の組織と相互の行き来がある。
- ・ サービスを向上させるために、スタッフは外部の会議等に出席している。

レベル2：関係団体のネットワークの中で積極的な役割を果たしている。協働することで従来の活動に付加価値が付いている。

- ・ 他の組織とのネットワークに対して、明確な意味付けをもっている。
- ・ 発展性あるサービスユーザーや、必要とする情報を獲得するために、ネットワークを活用している。
- ・ サービス利用者が他の適当な団体を参照できるシステムがある。
- ・ 他の組織・団体との共同事業が計画されており、実施計画への合意が文書化されている。
- ・ あなたのNPOの人物が、地域的、全国的なネットワークに参加し、知識や学びの共有に参加している。
- ・ スタッフ、理事、ボランティアは、外部に対する関係づくりに尽力し、非主流的なグループと接近する。

レベル3：パートナーシップを戦略的に開発している。すべての協働事業は、サービスの受け手にとって有益な成果に結びついている。

- ・ 他の組織・団体と、継続的な協働事業が行われている。
- ・ 他の組織・団体が、あなたのNPOのサービス利用者を発展性あるユーザーに高めてくれる。

- ・ 幅広い分野の主体との連携が、サービス利用者にとって総合的なサービス提供につながっている。
- ・ ネットワークの活動について、効果の観点から見直しが行われている。
- ・ すべての協働事業は評価が行われている。
- ・ パートナーシップはいかに組織の目的を前進させるのに有効であるかを示す上で、そのモニタリング結果が使われている。

3 ポイント

(1) 行政との協働

政策立案、予算作成 とりわけサービス提供型NPO
事業実施 とりわけサービス提供型NPO
評価

(2) 議会・議員との協働

(3) 他のNPOとの協働

NPOの力量アップ
NPOの声を届ける（政策提言を含む）

(4) 地縁団体等との協働

(5) 企業との協働

次回（2月4日）は「モニタリング・評価」（予定）